

政府備蓄米 活用

年 組 番 名前

新型コロナウイルスの感染拡大で、子ども食堂に加え、経済的に困難な家庭に無償で食材を届ける「こども宅食」の活動が広がっています。それに対し、農林水産省が政府備蓄米の提供を始めました。「こども宅食」を行っている人たちはどう受け止めているのか。記事を読み取りましょう。

① 「賄う」は調達する・供給するという意味の語です。読み仮名をつけましょう。

（ ー ）う

賄

② 政府備蓄米は、何に備えるために蓄えているコメですか。また、備蓄米の制度ができたきっかけは、何ですか。記事中の「政府備蓄米」の説明文も参考に書きましょう。

政府備蓄米――

制度ができたきっかけ――

③ 政府備蓄米が「子ども食堂」だけでなく、「こども宅食」にも活用されるようになったのは、なぜですか。

④ NPO法人「えんまる」共同代表の岩間千佳さんは、備蓄米の提供について何と話していますか。

⑤ 新型コロナウイルス感染拡大により、社会が大きく変化しています。みんなが支え合うために、あなたが今、できることはありますか。友達と話し合ってみましょう。

こども宅食

子ども食堂 政府備蓄米 活用

新型コロナウイルスで学校利用減—対象に

県内は2団体提供受ける

不作や大規模災害に備えた政府備蓄米が、子ども食堂や、経済的に困難な家庭に無償で食材を届ける「こども宅食」に活用され始めている。農水省は新型コロナウイルスで子どもの食事環境が変化したことを受け、食育の一環として一部を希望団体に無償提供。県内でも、ともにNPO法人の「えんまる」（長野市）と「信州協働会議」（茅野市）の2団体が提供を受け、子どもの食を支援している。

2月下旬、えんまるの事務局に備蓄米90kg（精米）が届いた。えんまるは昨年8月にこども宅食を始め、月1回、利用登録したひとり親家庭を訪問し、食材を届けている。今月の配達先は17世帯48人。備蓄米は子ども的人数に合わせて小分けし、支援者から集めた食材や学用品と共に配った。

コメは支援者が定期的に提供してくれるものの、利用家庭が増えるにつれて量の確保が課題になっていた。中高校生ら食へ盛りの子がいる家庭もあり、共同代表の岩間淳さん（46）は「毎月かなりの量が必要で、個人の支援だけで賄うのは難しい」と話す。

農水省によると、政府は現在、過去5年分のコメ100万トンを常時備蓄しており、5万トンを過ぎたコメは市場に売却するとしている。

万トンを常時備蓄しており、5年を過ぎたコメは飼料用に売却するなどしている。学校給食などには直近に生産された新しいコメを無償提供している。

これまでは主に給食のパンをご飯に切り替えた学校などに提供していたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う昨春の一斉休校で利用が減少。一方、休校中の子どもの食事に苦勞する家庭があったことから昨年5月、子ども食堂を無償提供の対象に加えた。

その後、感染リスクのために活動できない子ども食堂が増え、各家庭に食材を届ける支援のニーズが高まったことから今年2月、こども宅食にも対象を拡大。同月末までに子ども食堂約150団体、

信州協働会議は昨秋、備蓄米60kgの提供を受けた。2017年に子ども食堂を始め、現在は週1回、大人を含め25人前後が利用する。もとも参加者全員で料理して一緒に食べていたが、現在は弁当の配布に切り替えている。

コメは買ったり支援者にもらったりしてきたが、理事長の八幡力オリさん55は「回数も人数も多く、あつという間になくなるので、まとまった量のコメをもらえるのはありがたい」と話す。

農水省担当者は「子どもの食を守るさまざまな取り組みの一つとして備蓄米も活用してほしい」。えんまる共同代表の岩間千佳さん（42）は「地元企業や店、農家、子育て世代、お年寄り、学生などいろいろな人たちの『自分のできる支援』が集まって活動が成り立っている。政府も支援の輪に加わってくれて心強い」としている。



政府備蓄米 「平成の大凶作」とされる1993年の記録的なコメ不足を受け、政府が95年に始めた。長期間鮮度を保つ専用の保管倉庫で、過去5年分のコメ100万トンを常時備蓄。5年を過ぎたコメは市場に影響を与えないよう、飼料用に売却するとしている。

大凶作や2年連続の不作などで供給が著しく不足した際に、市場動向や作柄などから総合的に判断し、放出を決定する。98年度から直近に生産されたコメの一部を学校給食などに無償提供しており、2020年度は全国約50校が利用した。

NPO法人「えんまる」に届いた90kgの政府備蓄米。小分けにして利用家庭に届ける。5日、長野市

政府備蓄米 活用

解答例

年 組 番 名前

新型コロナウイルスの感染拡大で、子ども食堂に加え、経済的に困難な家庭に無償で食材を届ける「こども宅食」の活動が広がっています。それに対し、農林水産省が政府備蓄米の提供を始めました。「こども宅食」を行っている人たちはどう受け止めているのか。記事を読み取りましょう。

① 「賄う」は調達する・供給するという意味の語です。読み仮名をつけましょう。

（まかな）う

賄

② 政府備蓄米は、何に備えるために蓄えているコメですか。また、備蓄米の制度ができたきっかけは、何ですか。記事中の「政府備蓄米」の説明文も参考に書きましょう。

政府備蓄米——不作や大規模災害

制度ができたきっかけ——

「平成の大凶作」とされる1993年の記録的なコメ

不足

③ 政府備蓄米が「子ども食堂」だけでなく、「こども宅食」にも活用されるようになったのは、なぜですか。

【解答】

感染リスクのために活動できない子ども食堂が増え、各家庭に食材を届ける支援のニーズが高まったことから

④ NPO法人「えんまる」共同代表の岩間千佳さんは、備蓄米の提供について何と話していますか。

【解答】

地元の企業や店、農家、子育て世代、お年寄り、学生などいろんな人たちの「自分にできる支援」が集まって活動が成り立っている。政府も支援の輪に加わってくれて心強い

⑤ 新型コロナウイルス感染拡大により、社会が大きく変化しています。みんなが支え合うために、あなたが今、できることはありますか。友達と話し合ってみましょう。

【解答】

略